



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.11.22(火)

No.112



文責
松永

沖縄県宜野座村教育委員会からの視察がありました

熊本市の小中学生は、早い段階で一人一台のタブレットが貸与されて、学習を中心に活用しています。子どもたちの上達は早く、いろんな場面で使っています。そうした熊本市の取組の状況を参考にしたいと、他県からの視察が多いようです。今回、熊本市教育センターの依頼で、沖縄県宜野座村教育委員会から視察研修を受け入れました。ICTを活用した授業の様子を実際に参観したいということで、希望された1年生の国語、6年生の算数、そして5年生の理科の授業を見ていただきました。先生方は、日頃から課題の提示や子どもたちの意見の集約など様々な形でICTを活用しています。授業中の子どもたちも同様に、タブレットを使うように指示があると、さっと取り出して文字を入力するなど使いこなしています。時には、写真を撮ったりメモ代わりに使ったりといった記録にも使っています。発表用のツールとしても活用することがあります。沖縄からいらした8人の方々は、タブレットをスムーズに使いながら授業に臨む子どもたちの様子を見られて、大変参考になったと話されていました。これからも効果的に活用できる力を育てていきたいと思います。



そうじ時間も時間いっぱいがんばっています！

本校では、基本的に通常日課の月・水・金曜日の昼休み後に、そうじ時間が設定されています。自分たちの教室や廊下をはじめとして、学級で割り当てられた場所をそうじします。そしてもう一つ、「無言そうじ」に取り組んでいますので、おしゃべりはやめて、集中してそうじをがんばっている様子が見られます。私も、そうじ時間は校長室のそうじをしていますが、昨日は少し早く終わったので、玄関周辺をそうじしている様子を見て回りました。玄関の上り口を黙々とぞうきんで拭いていたり、外庭の草とりや落ち葉掃きに精を出していたりしていました。自分たちが使う学校・教室です。自分たちの手できれいに、気持ちよく過ごせるようにしてほしいですね。

